

## 工場内の架空デッキに上り、開口部から転落！

— “チョット”の作業でもしっかり墜落防止対策を —

- ☆ 平成23年3月11日のお昼頃（地震の少し前で、地震とは無関係）、岩沼市内の工場内で転落事故が発生し、61歳の電工（男性）が死亡しました。
- ☆ 被災者の所属事業所は、発注者である工場に常駐し電気工事を行う下請業者です。
- ☆ 工場内に設置されている水銀灯が切れたため、電球や器具の交換などをしたものの修復しませんでした。そこで天井部近くにある梁（床からの高さ約7m）に設置されている安定器の確認を行うこととしました。
- ☆ 安定器の設置箇所はダクトに遮られて高所作業車が使えないことから、付近にある点検用のデッキから近づくこととしました。なお、このデッキは、かつてここにあった温水タンクの点検用に設置されていたものですが、この時点では温水タンクは撤去されており開口となっていました。
- ☆ 被災者は、デッキに通ずる階段を上ってデッキに立ったところで、突然、開口部から床に墜落したものです。
- ★ 比較的短時間で済む作業でも、墜落防止措置は確実に実施するよう心がけましょう
- ★ 水銀灯保全のような業務は、当該事業場にとっては日常的に行われるものかもしれませんが、作業場所や環境等は日々異なりますので、作業場所の確認とそれに応じた危険要因の把握、対処方法の確認を実施しましょう。

